



Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ コマンド

この章では、Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチとシスコのクラウド サービス プラットフォームのネットワーク アプライアンスでの Cisco Virtual Security Gateway (VSG) の関連コマンドに関する情報を提供します。

capability l3-vservice

ポート プロファイルを l3 vn-service で使用されるように設定するには **capability l3-vservice** コマンドを使用します。ポート プロファイルから機能を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

capability l3-vservice

no capability l3-vservice

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ポート プロファイルを l3-vservice で使用されるように設定する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# port-profile testprofile
n1000v(config-port-prof)# capability l3-vservice
```

次に、ポート プロファイルから l3-vservice の設定を削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# port-profile testprofile
n1000v(config-port-prof)# no capability l3-vservice
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile	ポート プロファイルに関する情報を表示します。

clear vservice connection

シスコの vservice 接続をクリアするには、**clear vservice connection** コマンドを使用します。

clear vservice connection [**module** *module-num*]

構文の説明	module	(任意) 特定のモジュールをクリアします。
	<i>module-num</i>	モジュール番号。範囲は 3 ~ 66 です。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、Cisco VSG 接続をクリアする例を示します。
vsm# **clear vservice connection**

関連コマンド	コマンド	説明
	show vservice	Cisco VSG の情報を表示します。

clear vservice statistics

シスコの vservice 統計情報をクリアするには、**clear vservice statistics** コマンドを使用します。

clear vservice statistics [**module** *module-number* | **ip** <*ip-address*>]

構文の説明

module	(任意) モジュールをクリアします。
<i>module-number</i>	モジュール番号。範囲は 3 ~ 66 です。
ip	IP アドレス。
<i>ip-address</i>	IP アドレス。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、既存のモジュールの Cisco VSG の vservice 統計情報をクリアする例を示します。

```
vsm# clear vservice statistics
Cleared statistics successfully in module 4
Cleared statistics successfully in module 6
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice	Cisco VSG の情報を表示します。

copy running-config startup-config

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーするには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用します。

copy running-config startup-config

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

実行コンフィギュレーションでの設定の変更を永続的メモリ内のスタートアップ コンフィギュレーションに保存するには、このコマンドを使用します。デバイスのリロードまたは切り替えが発生すると、保存済みの設定が適用されます。

例

次に、実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存する例を示します。

```
vsm# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。
show running-config diff	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。
write erase	持続性メモリ内のスタートアップ コンフィギュレーションが消去されます。

log-level

Cisco Virtual Network Management Center (VNMC) ポリシー エージェントにロギング重大度レベルを設定するには、**log-level** コマンドを使用します。ログレベルをリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
log-level {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn}
no {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn}
```

構文の説明

critical	ログレベルをクリティカルに設定します。
debug0	ログレベルをデバッグ 0 に設定します。
debug1	ログレベルをデバッグ 1 に設定します。
debug2	ログレベルをデバッグ 2 に設定します。
debug3	ログレベルをデバッグ 3 に設定します。
debug4	ログレベルをデバッグ 4 に設定します。
info	ログレベルを情報に設定します。
major	ログレベルをメジャーに設定します。
minor	ログレベルをマイナーに設定します。
warn	ログレベルを警告に設定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

Cisco VNMC ポリシー エージェントの設定 (config-vnm-policy-agent)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、クリティカルにログレベルを設定する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# vnm-policy-agent
vsm(config-vnm-policy-agent)# log-level critical
```

関連コマンド

コマンド	説明
vnm-policy-agent	Cisco VNMC ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。

org

Cisco Virtual Network Management Center (VNMC) の組織 (ドメイン) を作成するには、**org** コマンドを使用します。Cisco VNMC の組織を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

org *organization-name*

no org [*organization-name*]

構文の説明	<i>organization-name</i> 組織名。文字数は、1 ~ 251 です。
--------------	---

コマンドデフォルト	なし
------------------	----

コマンドモード	ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)
----------------	---

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
----------------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<p>Cisco VNMC の組織は、Cisco VNMC のドメインです。</p> <p>階層的に Cisco VNMC の組織を管理できます。トップ レベルの組織に割り当てられたユーザは、自動的にその下にあるすべての組織にアクセスできます。たとえば、エンジニアリング組織が、ソフトウェア エンジニアリング組織とハードウェア エンジニアリング組織で構成されているとします。ソフトウェア エンジニアリング組織だけを含むロケールでは、その組織内だけのシステム リソースにアクセスできます。ただし、エンジニアリング組織を含むロケールでは、ソフトウェア エンジニアリング組織とハードウェア エンジニアリング組織の両方のリソースにアクセスできます。</p>
-------------------	--

例	次の例は、組織の作成方法を示しています。
----------	----------------------

```
vsm# configure
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
vsm(config)# port-profile pP1
vsm(config-port-prof)# org root/tenant1
vsm(config-port-prof)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	vservice	仮想ファイアウォールの IP アドレスを設定します。

ping vsn

vPath から仮想サービス ノード (VSN) に ping を実行するには、**ping vsn** コマンドを使用します。このコマンドの **no** 形式はありません。

```
ping vsn {all | {ip <ip-addr>}} src-module {all | vpath-all | <module-num>} [timeout <secs>]
[count {unlimited | <count>}]
```

構文の説明

ip	特定の IP アドレスに ping を実行することを指定します。
<i>ip-addr</i>	特定の VSN の IP アドレス。
all	すべての VSN で ping を実行する必要があることを示します。
src-module	ping のソース モジュールを指定します。
<i>module-num</i>	ソース パスのモジュール番号。
vpath all	すべてのソース vPath が使用されることを指定します。
timeout	(任意) タイムアウトを指定します。
<i>secs</i>	秒単位の ping 動作の期間。
count	(任意) ping の数を指定します。
<i>count</i>	カウントする ping の数。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの **no** 形式はありません。

例

次に、Cisco VSG の接続への ping の実行方法を示します。

```
vsm# ping ?
<CR>
  A.B.C.D or Hostname  IP address of remote system
  WORD                 Enter Hostname
  mpls                 Ping an MPLS network
  multicast            Multicast ping
  vsn                  VSNs to be pinged

vsm# ping vsn

Input parameters:
• vsn : VSNs to be pinged.
```


- o all : All VSNs that are currently associated to at least one VM. In other words, all VSNs specified in port-profiles that are bound to at least one VM.
- o ip-addr <ip-addr> : All VSNs configured with this IP address.
- src-module : Source modules to originate ping request from.
 - o all : All online modules.
 - o vpath-all : All modules having VMs associated to port-profiles that has vn-service defined.
 - o <module-num> : A online module number.
- timeout <secs> : Time to wait for response from VSNs, in seconds. Default is 1 sec.
- count : Number of ping packets to be sent.
 - o <count> : Specifies number of ping packets to be sent. Default is 5. Min 1, Max 2147483647.
 - o unlimited : Send ping packets until command is stopped.

ping を実行する VSN が VM に関連付けられていない場合は IP アドレスを指定します。

出力には、各モジュールの各 VSN の ping 要求の状態を示します。成功した ping で、VSN の ping 要求/応答のラウンドトリップ時間はモジュール番号の横にマイクロ秒単位で示されます。障害発生時に、失敗メッセージは、モジュール番号の横に表示されます。

Various forms:

```
ping vsn all src-module all           (Ping all VSNs from all modules)
ping vsn all src-module vpath-all    (Ping all VSNs from all modules having
                                       VMs associated to VSNs)
ping vsn all src-module 3            (Ping all VSNs from the specified module)
ping vsn ip 106.1.1.1 src-module all (Ping specified VSN from all modules)
ping vsn ip 106.1.1.1 src-module vpath-all (Ping specified VSN from all modules
                                             having VMs associated to VSNs)
```

この例は、timeout と count オプションが上記のすべてのコマンドに適用されることを示します。

```
ping vsn all src-vpath all timeout 2 count 10
ping vsn all ip 106.1.1.1 count unlimited
```

Errors:

```
VSN response timeout - VSN is down, not reachable or not responding.
VSN ARP not resolved - VEM couldn't resolve MAC address of VSN.
no response from VEM - VEM is not sending ping response to VSM. Can happen when VEM
is down and VSM not detected it yet.
```

次に、すべてのソース モジュールのトラフィックを表示する例を示します。

```
vsm# ping vsn all src-module all
ping vsn 10.1.1.44 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=0 timeout=1-sec
module(usec) : 9(508)
module(failed) : 10(VSN ARP not resolved) 11(VSN ARP not resolved)
                12(VSN ARP not resolved)
ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=0 timeout=1-sec
module(usec) : 9(974) 11(987) 12(1007)
module(failed) : 10(VSN ARP not resolved)

ping vsn 10.1.1.44 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=1 timeout=1-sec
module(usec) : 9(277) 10(436) 11(270) 12(399)
ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=1 timeout=1-sec
module(usec) : 9(376) 10(606) 11(468) 12(622)

ping vsn 10.1.1.44 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=2 timeout=1-sec
module(usec) : 9(272) 10(389) 11(318) 12(357)
ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=2 timeout=1-sec
module(usec) : 9(428) 10(632) 11(586) 12(594)

ping vsn 10.1.1.44 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=3 timeout=1-sec
module(usec) : 9(284) 10(426) 11(331) 12(387)
```

ping vsn

```

ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=3 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(414) 10(663) 11(644) 12(698)

ping vsn 10.1.1.44 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=4 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(278) 10(479) 11(334) 12(469)
ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 10 11 12, seq=4 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(397) 10(613) 11(560) 12(593)

vsm# ping vsn ip 10.1.1.40 src-module vpath-all
ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 11 12, seq=0 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(698) 11(701) 12(826)

ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 11 12, seq=1 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(461) 11(573) 12(714)

ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 11 12, seq=2 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(447) 11(569) 12(598)

ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 11 12, seq=3 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(334) 11(702) 12(559)

ping vsn 10.1.1.40 vlan 0 from module 9 11 12, seq=4 timeout=1-sec
  module(usec)   : 9(387) 11(558) 12(597)

vsm#

```

関連コマンド

コマンド	説明
ping	パス上の他のデバイスとの接続を確認する信号をアクティブにします。

policy-agent-image

ブートフラッシュとしてポリシー エージェント イメージのローカル URL を指定するには、**policy-agent-image** コマンドを使用します。指定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

policy-agent-image bootflash:

no policy-agent-image bootflash:

構文の説明	bootflash: ブートフラッシュとしてポリシー エージェント イメージのローカル URL を指定します。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	VNMK ポリシー エージェント の設定 (config-vnm-policy-agent)				
サポートされる ユーザ ロール	ネットワーク 管理者				
コマンド 履歴	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">リリース</th> <th style="text-align: left;">変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.2(1)SM1(5.1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。				
例	<p>次に、ポリシー エージェント イメージを含むローカル URL を指定する例を示します。</p> <pre>vsm# configure vsm(config)# vnm-policy-agent vsm(config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:</pre>				
関連コマンド	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>vnm-policy-agent</td> <td>VNM ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	vnm-policy-agent	VNM ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
コマンド	説明				
vnm-policy-agent	VNM ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。				

pop

モードをスタックからポップするか、モードを復元するには、**pop** コマンドを使用します。

pop *file-name*

構文の説明	<i>file-name</i>	ファイルの名前。
-------	------------------	----------

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC
----------	------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例	次に、file1 というファイルから復元する例を示します。 vsm# pop file1
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	push	スタックに現在のモードをプッシュします。

port-profile

ポート プロファイルを作成してポート プロファイル コンフィギュレーション モードを開始するには、**port-profile** コマンドを使用します。ポート プロファイル コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

port-profile *profile-name*

no port-profile *profile-name*

構文の説明	<i>profile-name</i>	ポート プロファイル名。文字数は、1 ～ 80 です。
デフォルト		なし
コマンド モード		グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザロール		ネットワーク管理者
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		各ポート プロファイルのポート プロファイル名は一意であることが必要です。
例		次に、AccessProf というポート プロファイルを作成する例を示します。 <pre>vsm# configure vsm(config)# port-profile AccessProf</pre> 次に、AccessProf というポート プロファイルを削除する例を示します。 <pre>vsm# configure vsm(config)# no port-profile AccessProf</pre>
関連コマンド	コマンド	説明
	show port-profile	ポート プロファイルに関する情報を表示します。

push

スタックに現在のモードをプッシュするか、または保存するには、**push** コマンドを使用します。

push *file-name*

構文の説明	<i>file-name</i>	ファイルの名前。
-------	------------------	----------

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC
----------	------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例	次に、スタックに file1 をプッシュする例を示します。 vsm# push file1
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	pop	スタックから現在のモードをポップします。

registration-ip

サービス レジストリの IP アドレスを設定するには、**registration-ip** コマンドを使用します。サービス レジストリの IP アドレスを破棄するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

registration-ip ip-address

no registration-ip

構文の説明	<i>ip-address</i>	サービス レジストリの IP アドレス。フォーマットは、A.B.C.D です。
-------	-------------------	---

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	Cisco VNMC ポリシー エージェントの設定モード (config-vnm-policy-agent)
---------	--

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、サービス レジストリの IP アドレスを設定する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# vnm-policy-agent
vsm(config-vnm-policy-agent)# registration-ip 209.165.200.23
```

関連コマンド	コマンド	説明
	vnm-policy-agent	Cisco VNMC ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードを開始します。

shared-secret

Cisco VSG、仮想スーパーバイザ モジュール (VSM)、および Cisco Virtual Network Management Center (VNMC) の間の通信用の共有シークレット パスワードを設定するには、**shared-secret** コマンドを使用します。共有シークレット パスワードを破棄するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

shared-secret *shared-secret-password*

no shared-secret

構文の説明

shared-secret-password 共有シークレット パスワード。文字数は、1 ~ 64 です。少なくとも 1 文字以上の大文字を使用します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

Cisco VNMC ポリシー エージェントの設定モード (config-vnm-policy-agent)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、共有シークレット パスワードを設定する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# vnm-policy-agent
vsm(config-vnm-policy-agent)# shared-secret Password123
```

関連コマンド

コマンド	説明
vnm-policy-agent	VNM ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードを開始します。

show org port brief

組織が設定されたポート プロファイルに接続されたポートを表示するには、**show org port brief** コマンドを使用します。

```
show org port brief [port-profile pp_name | vethernet veth_num] [module module_num]
```

構文の説明

port-profile	(任意) 指定したポート プロファイルの名前のポート情報を表示します。
<i>pp_name</i>	ポート プロファイル名。
vethernet	(任意) 指定した仮想イーサネット番号のポート情報を表示します。
<i>vethernet_num</i>	仮想イーサネット番号を指定します。
module	(任意) モジュール番号を表示します。
<i>module_num</i>	モジュールの仮想イーサネット接続を確認できるようにモジュール番号を表示します。

コマンドモード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show org port brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- module : 特定のモジュール番号ごとに出力をフィルタに掛けます。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、ポート プロファイルの情報を表示する例を示します。

```
Veth    Mod VM-Name          vNIC  IP-Address
  2      4 fc3-2610-4        2     100.1.1.1
  5      5 fc3-2610-5        3     100.1.1.2
  9      5 fc3-2610-6        1     100.1.1.3
```

show running-config

実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

```
show running-config [aaa | diff] ip | port-profile | vlan | acllog | eem | ipqos | port-security | vrf |
aclmgr | exclude | ipv6 | radius | vservice | adjmgr | exclude-provision | l3vm | rpm | vshd |
all | expand-port-profile | license | security | arp | icmpv6 | monitor | cdp | igmp | network |
spanning-tree | cert-enroll | interface | ntp | vdc-all]
```

構文の説明

aaa	(任意) 認証、許可、アカウントिंग (AAA) の設定を表示します。
aclmgr	(任意) アクセス コントロール リスト (ACL) マネージャの実行コンフィギュレーションを表示します。
adjmgr	(任意) 隣接マネージャ情報を表示します。
all	(任意) 現在の動作設定を表示します。
am	(任意) アプリケーション マネジメント (AM) 情報を表示します。
arp	(任意) アドレス解決プロトコル (ARP) 情報を表示します。
cdp	(任意) Cisco Discovery Protocol (CDP) 設定を表示します。
cert-enroll	(任意) 証明書登録情報を表示します。
diff	(任意) 実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。
eem	
exclude	(任意) 指定された機能の実行コンフィギュレーションを除外します。
exclude-provision	(任意) プロビジョニング情報を除外します。
expand-port-profile	(任意) ポート プロファイル情報を表示します。
icmpv6	(任意) インターネット制御メッセージプロトコル (ICMPv6) 情報を表示します。
igmp	(任意) インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) 情報を表示します。
interface	(任意) インターフェイス設定を表示します。
ip	(任意) インターネット プロトコル (IP) 情報を表示します。
ipqos	(任意) IP Quality of Service (QoS) マネージャの実行コンフィギュレーションを表示します。
ipv6	(任意) IPv6 情報を表示します。
l3vm	(任意) レイヤ 3 仮想マシン (L3VM) 情報を表示します。
license	(任意) ライセンス設定を表示します。
monitor	(任意) イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) セッション情報を表示します。
network	(任意) ネットワーク情報を表示します。
ntp	(任意) ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 情報を表示します。
port-profile	(任意) ポート プロファイル設定を表示します。
port-security	(任意) ポート セキュリティ設定を表示します。
radius	(任意) リモート認証ダイヤルインユーザ サービス (RADIUS) 設定を表示します。
rpm	(任意) RPM 情報を表示します。
security	(任意) セキュリティ設定を表示します。
spanning-tree	(任意) スパニングツリー プロトコル情報を表示します。

vdc-all	(任意) すべての仮想デバイス コンテキスト (VDC) の設定を表示します。
vlan	(任意) 仮想ラージエリア ネットワーク (VLAN) の情報を表示します。
vrf	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 情報を表示します。
vshd	(任意) 仮想共有ハードウェア デバイス (VSHD) の実行コンフィギュレーションを表示します。
aclog	aclog 情報を表示します。
vservice	仮想サービス ノードを表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `show running-config` コマンドで次の演算子を使用できます。

- `>`: 出力をファイルにリダイレクトします。
- `>>`: 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- `|`: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例 次に、実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
vsm-hpv# show running-config

!Command: show running-config
!Time: Sun May 5 20:04:22 2013

version 5.2(1)SM1(5.1)
svs switch edition essential

hostname VSM-hpv

no feature telnet
feature network-segmentation-manager

username admin password 5 $1$KxvwqWcb$8PqeCVrfY6QDy9nau.hBf. role network-admin

banner motd #Nexus 1000V Switch
#

ip domain-lookup
errdisable recovery cause failed-port-state
svs license volatile
```

■ show running-config

```

vem 3
  host id 0F5A5036-A5BF-1244-896D-760C4E3AC29C
vem 4
  host id 1022F40A-D033-FB44-B228-6B48FBD14928
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xda2d510adcc26f463fc5c476a19be55b priv
0xda2d510adcc26f463fc5c476a19be55b localizedkey
rmon event 1 log trap public description FATAL(1) owner PMON@FATAL
rmon event 2 log trap public description CRITICAL(2) owner PMON@CRITICAL
rmon event 3 log trap public description ERROR(3) owner PMON@ERROR
rmon event 4 log trap public description WARNING(4) owner PMON@WARNING
rmon event 5 log trap public description INFORMATION(5) owner PMON@INFO

vrf context management
  ip route 0.0.0.0/0 10.2.0.1
vlan 1,550-555,914

port-channel load-balance ethernet source-mac
port-profile default max-ports 32
port-profile default port-binding static
port-profile type vethernet NSM_template_vlan
  no shutdown
  guid 86ceec5b-7a9c-4df4-9218-333bfc6f40a5
  description NSM default port-profile for VLAN networks. Do not delete.
  state enabled
port-profile type vethernet NSM_template_segmentation
  no shutdown
  guid 4a6cf01d-80df-48b2-87d8-0b0a15e7d450
  description NSM default port-profile for VXLAN networks. Do not delete.
  state enabled
port-profile type ethernet Uplink
  no shutdown
  guid 2122b8d9-8d21-4fb3-9e75-971fbb1a266d
  max-ports 512
  state enabled
port-profile type ethernet uplink_network_default_policy
  no shutdown
  guid bf7bd8ce-9a90-4af2-98c9-d7f8bafa9cb2
  max-ports 512
  description NSM created profile. Do not delete.
  state enabled
port-profile type vethernet N1K
  no shutdown
  guid 70cff39e-9136-434c-8f36-f17e82210031
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet service
  no shutdown
  guid 6b9b60fd-4aff-40da-896c-7df7bc252908
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet ha
  no shutdown
  guid 7f598f09-68d6-47a3-97e0-158ce8558292
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet vnadp
  capability l3-vservice
  no shutdown
  guid d41c34d0-7c93-4fec-92ef-1f4383276b28
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet veth-1
  org root/Tenant-1
  vservice node VSG-138 profile SP11

```

```
no shutdown
guid 14fa09d3-6cf8-4c55-b7f5-ad0ae4e4c8bd
state enabled
publish port-profile
port-profile type vethernet veth-2
org root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
vservice node VSG-138 profile SP14
no shutdown
guid 4be00543-2965-4d4e-be39-2f0ed5c606e6
state enabled
publish port-profile
port-profile type vethernet veth-3
org root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
vservice node VSG-N1010 profile SP11
no shutdown
guid 335f49a3-95e8-4c88-b078-7a5424f4537b
state enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa	AAA の情報を表示します。

show running-config vservice node

ネットワークのサービス ノードの設定詳細を表示するには、**show running-config vservice node** コマンドを使用します。

show running-config vservice node [*node-name*]

構文の説明

<i>node-name</i>	(任意) vservice ノードの名前。
------------------	-----------------------

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config vservice node コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- *node-name* : 指定の vservice ノード名の設定を表示します。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、設定された vservice のノードに関する情報を表示する例を示します。

```
vsm# show running-config vservice node

!Command: show running-config vservice node
!Time: Wed May 8 06:54:03 2013
version 5.2(1)SM1(5.1)
logging level vns_agent 2
vservice node VSG13 type vsg
ip address 192.168.180.33
adjacency 13
fail-mode close
vservice node VSGhv-13 type vsg
ip address 192.168.180.31
adjacency 13
fail-mode close
```

関連コマンド

コマンド	説明
vservice node	サービス ノードを設定します。

show vnm-pa status

ポリシー エージェントのインストール状態を表示するには、**show vnm-pa status** コマンドを使用します。

show vnm-pa status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vnm-pa status コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、ポリシー エージェントのインストール状態を表示する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# show vnm-pa status
VNM Policy-Agent status is - Installed Successfully. Version 1.0(0.512)-vsm
vsm(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
vnm-policy-agent	Cisco VNMC ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードを開始します。

show vservice brief

Cisco VSG に関する簡単なサマリー情報だけを表示するには、**show vservice brief** コマンドを使用します。

```
show vservice brief {[node-name <node name>] | {[node-l3] [node-ipaddr <ip-addr>]} | [
  module <module-num>]}
```

構文の説明

node-l3	ノードのレイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
node-ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
ip-addr	サービス ノードの IP アドレスを指定します。
module	(任意) モジュール番号を表示します。
module-num	モジュールのすべての VSN 接続を確認できるようにモジュール番号を指定します。
node-name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
node-name	サービス ノードを指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、VSG のサマリーを表示する例を示します。

```
vsm# show vservice brief
```

```
-----
                                 License Information
-----
Type          In-Use-Lic-Count  UnLicensed-Mod
vsg                    2
```

show vservice brief

asa 0

Node Information

ID	Name	Type	IP-Address	Mode	State	Module
2	VSG-N1010	vsg	10.1.0.200	13	Unreach	4,
3	VSG-Root	vsg	10.1.0.150	13	Unreach	4,

Path Information

Port Information

PortProfile:veth-10

Org:root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1

Node:VSG-N1010(10.1.0.200)

Profile(Id):SP11(16)

Veth Mod VM-Name

vNIC

3 4 vm-ub-11

PortProfile:veth-3

Org:root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1

Node:VSG-Root(10.1.0.150)

Profile(Id):SP100(16)

Veth Mod VM-Name

vNIC

5 4 vm-win-16

6 4 vm-ub-10

PortProfile:veth-3

Org:root/Tenant-2/VDC-2/App-2/Tier-2

Node:VSG-Root(10.1.0.150)

Profile(Id):SP100(22)

Veth Mod VM-Name

vNIC

4 4 vm-win-15

show vservice connection

Cisco VSG の接続を表示するには、**show vservice connection** コマンドを使用します。

```
show vservice connection [port-profile <pp_name> | service-profile <sp_name> | node-name
<node_name> | {[node-l3] [node-ipaddr <ip_addr>]}] [module <module_num>]
```

構文の説明

port-profile	指定したポート プロファイルの名前のポート情報をフィルタに掛けます。
port-profile	ポート プロファイル名を指定します。
service-profile	指定したサービス プロファイル名のポート情報をフィルタに掛けます。
service_profile	サービス プロファイルの名前を指定します。
node-name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
node-name	サービス ノードを指定します。
node-l3	ノードのレイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
node-ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
ip-addr	サービス ノードの IP アドレスを指定します。
module	(任意) モジュール番号を表示します。
module-num	モジュールのすべての VSN 接続を確認できるようにモジュール番号を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice connection コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、Cisco VSG の接続を表示する例を示します。

```
vsm-hpv# show vservice connection
Actions (Act):
d - drop                s - reset
p - permit              t - passthrough
r - redirect            e - error
```

■ show vservice connection

```

_ - not processed yet          upper case - offloaded
Flags:
A - seen ack for syn/fin from src  a - seen ack for syn/fin from dst
E - tcp conn established (SasA done)
F - seen fin from src            f - seen fin from dst
R - seen rst from src            r - seen rst from dst
S - seen syn from src            s - seen syn from dst
T - tcp conn torn down (FafA done) x - IP-fragment connection

#Port-Profile:(null)          Node:VSG-Root
#Module 4
Proto SrcIP[:Port]          SAct  DstIP[:Port]          DAct  Flags          Bytes

```

show vservice detail

Cisco VSG の詳細情報を表示するには、**show vservice detail** コマンドを使用します。

```
show vservice detail {[node-name <node name>]} | { [node-l3] [node-ipaddr <ip-addr>]} | [
module <module-num>]}
```

構文の説明

node-name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
<i>node-name</i>	サービス ノードを指定します。
node-l3	ノードのレイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
node-ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
<i>ip-addr</i>	サービス ノードの IP アドレスを指定します。
module	(任意) モジュール番号を表示します。
<i>module-num</i>	モジュールのすべての VSN 接続を確認できるようにモジュール番号を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vsn detail コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、Cisco VSG に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
vsm-hpv# show vservice detail
```

```
-----
                                License Information
-----
Mod  VSG-Lic-Count
   4                2
-----
                                Node Information
```

show vservice detail

```

-----
Node ID:3      Name:VSG-Root
Type:vsg      IPAddr:10.1.0.150      Fail:close L3
Mod  State    MAC-Addr      VVer
  4  Alive     --            2
-----

Path Information
-----

Port Information
-----

PortProfile:veth-10
Org:root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
Node:VSG-Root(10.1.0.150)      Profile(Id):SP100(16)
Veth5
Module :4
VM-Name :vm-win-16
vNIC:Network Adapter
DV-Port :884f1580-0ad6-4958-a74a-c27b3febbe28--8884a888-09e1-4503-8074-de32e3e2
af85
VM-UUID :884F1580-0AD6-4958-A74A-C27B3FEBBE28
DVS-UUID:633a90b8-98bd-4264-b3b6-7a0d77b73ba1
vsm#
-----

```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice port vethernet	仮想イーサネット (vEth) ポートに関する情報を表示します。

show vservice license brief

Cisco VSG のライセンス情報の概要を表示するには、**show vservice license brief** コマンドを使用します。

show vservice license brief

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice license brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、ライセンスに関する要約情報を表示する例を示します。

```
n1000v# show vservice license brief
```

```
-----
                                License Information
-----
Type      In-Use-Lic-Count  UnLicensed-Mod
vsg              2
asa              0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show license usage	vservice ノード ライセンスの使用状況を表示します。

show vservice license detail

Cisco VSG の詳細なライセンス情報を表示するには、**show vservice license detail** コマンドを使用します。

```
show vservice license detail {module module_num}
```

構文の説明

module	モジュール番号をフィルタに掛けます。
module_num	モジュール番号。範囲は 3 ~ 66 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice license detail コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、ライセンスに関する要約情報を表示する例を示します。

```
VSM-hpv# show vservice license detail mod 4
```

```
-----
                                License Information
-----
Mod  VSG-Lic-Count  ASA-Lic-Count
  4             2             0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show license usage	vservice ライセンスの使用状況。

show vservice node mac brief

Cisco VSG のサービス ノードの MAC アドレスに関する簡単なサマリーを表示するには、**show vservice node mac brief** コマンドを使用します。

show vservice node mac brief

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice node mac brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、Cisco VSG のサービス ノードの MAC アドレスを表示する例を示します

```
VSM-hpv# show vservice node mac brief
```

```
-----
Node Information
-----
ID Type IP-Address MAC-Addr Mode Fail State Module
3 vsg 10.1.0.150 00:00:00:00:00:00 13 close Alive 4,
```

show vservice node brief

Cisco VSG の vservice ノードに関する簡単なサマリーを表示するには、**show vservice node brief** コマンドを使用します。

```
show vservice node brief {[name <name>] | {[l3] [ipaddr <ip_addr>]} } [module
  <module_num>]}
```

構文の説明

name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
<i>name</i>	サービス ノード。
l3	レイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
<i>ip_addr</i>	ノードの IP アドレス。
module	(任意) module キーワードを表示します。
<i>module-num</i>	モジュールのすべての VSN の接続を表示するモジュール番号。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice node brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、Cisco VSG の vservice ノードに関する簡単なサマリーを表示する例を示します。

```
VSM-hpv# show vservice node brief
```

```
-----
                                Node Information
-----
ID Name                               Type  IP-Address  Mode  State  Module
 3 VSG-Root                            vsg   10.1.0.150  13   Alive  4,
```

show vservice node detail

Cisco VSG の vservice のノードに関する詳細を表示するには、**show vservice node detail** コマンドを使用します。

```
show vservice node detail {[name <name>] | {[l3] [ipaddr <ip_addr>]} } [module
<module_num>]}
```

構文の説明

name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
name	サービス ノード。
l3	レイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
ip_addr	ノードの IP アドレス。
module	(任意) module キーワードを表示します。
module-num	モジュールのすべての VSN の接続を表示するモジュール番号。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice node detail コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、Cisco VSG のサービス ノードを表示する例を示します。

```
VSM-hpv# show vservice node detail
```

```
-----
                                Node Information
-----
Node ID:3           Name:VSG-Root
Type:vsg           IPAddr:10.1.0.150       Fail:close L3
Mod State          MAC-Addr                VVer
```

```
■ show vservice node detail
```

```
4 Alive -- 2
```

show vservice port brief

ネットワーク内に設定されたポートに関する簡単なサマリーを表示するには、**show vservice port brief** コマンドを使用します。

```
show vservice port brief [port-profile <pp_name> | <veth_if> | service-profile <sp_name> |
node-name <node_name> | {[node-l3] [node-ipaddr <ip_addr>]}] [module <module_num>]}
```

構文の説明

port-profile	指定したポート プロファイルの名前のポート情報を表示します。
<i>pp_name</i>	ポート プロファイル名。
<i>veth_if</i>	仮想イーサネット インターフェイス。
service-profile	指定したサービス プロファイル名のポート情報を表示します。
<i>service_profile</i>	サービス プロファイル名。
node-name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
<i>node-name</i>	サービス ノード。
node-l3	ノードのレイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
node-ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
<i>ip_addr</i>	ノードの IP アドレス。
module	(任意) module キーワードを表示します。
<i>module-num</i>	モジュールのすべての VSN の接続を表示するモジュール番号。

コマンドモード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice port brief コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- module : 特定のモジュール番号ごとに出力をフィルタに掛けます。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、モジュール番号 4 について vservice ポートの要約を表示する例を示します。

```
vsm# show vservice port brief module 4
```

■ show vservice port brief

Port Information

```

-----
PortProfile:
Org:root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
Node:VSG-Root(10.1.0.150)           Profile(Id):SP100(16)
Veth Mod VM-Name                   vNIC
   5   4 vm-win-16

```

関連コマンド

コマンド	説明
vservice port detail	ネットワーク内に設定されたポートの詳細を表示します。

show vservice port detail

ネットワーク内に設定されたポートに関する詳細を表示するには、**show vservice port detail** コマンドを使用します。

```
show vservice port detail [port-profile <pp_name> | <veth_if> | service-profile <sp_name> |
node-name <node_name> | {[node-l3] [node-ipaddr <ip_addr>]}] [module <module_num>]}
```

構文の説明

port-profile	指定したポート プロファイルの名前のポート情報を表示します。
<i>pp_name</i>	ポート プロファイル名。
<i>veth_if</i>	仮想イーサネット インターフェイス。
service-profile	指定したサービス プロファイル名のポート情報を表示します。
<i>service_profile</i>	サービス プロファイル名。
node-name	(任意) サービス ノードの名前を表示します。
<i>node-name</i>	サービス ノード。
node-l3	ノードのレイヤ 3 隣接のポート情報を表示します。
node-ipaddr	ノードの指定した IP アドレスのポート情報を表示します。
<i>ip_addr</i>	ノードの IP アドレス。
module	(任意) module キーワードを表示します。
<i>module-num</i>	モジュールのすべての VSN の接続を表示するモジュール番号。

コマンドモード

EXEC

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice port detail コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- module : 特定のモジュール番号ごとに出力をフィルタに掛けます。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、モジュール 4 の vservice の詳細を表示する例を示します。

```
vsm# show vservice port detail module 4
```

```
-----  
Port Information
```

■ show vservice port detail

```

-----
PortProfile:
Org:root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
Node:VSG-Root(10.1.0.150)                Profile(Id):SP100(16)
Veth5
Module :4
VM-Name :vm-win-16
vNIC:Network Adapter
DV-Port :884f1580-0ad6-4958-a74a-c27b3febbe28--8884a888-09e1-4503-8074-de32e3e2a
f85
VM-UUID :884F1580-0AD6-4958-A74A-C27B3FEBBE28
DVS-UUID:633a90b8-98bd-4264-b3b6-7a0d77b73ba1

```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice port brief	ネットワーク内に設定されたポートに関する簡単なサマリーを表示します。

show vservice statistics

Cisco VSG に関連付けられたすべての VEM モジュールの設定、MAC アドレス、関連する Cisco VSG と Virtual Ethernet Module (VEM) の状態、Cisco VSG がバインドされている仮想イーサネットインターフェイス、および仮想サービス ノード (VSN) の統計情報を表示するには、**show vservice statistics** コマンドを使用します。

```
show vservice statistics [ip ip-addr | module module-num]
```

構文の説明

ip	(任意) IP アドレスの統計情報を表示します。
ip-addr	MAC アドレス。
module	(任意) VEM モジュールの統計情報を表示します。
module-num	モジュール番号。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show vservice statistics コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例

次に、モジュールの統計情報を表示する例を示します。

```
VSM-hpv# show vservice statistics module 4
#VSN VLAN: 0, IP-ADDR: 10.1.0.150
Module: 4
#VPath Packet Statistics      Ingress      Egress      Total
Total Seen                    2             2            4
Policy Redirects              2             2            4
No-Policy Passthru            0             0            0
Policy-Permits Rcvd           1             2            3
Policy-Denies Rcvd            0             0            0
Permit Hits                    0             0            0
Deny Hits                     0             0            0
Decapsulated                   1             2            3
Fail-Open                      0             0            0
Badport Err                     0             0            0
```

show vservice statistics

```

VSN Config Err                0                0                0
VSN State Down                228             1288             1516
Encap Err                     0                0                0
Version Mismatch              0                0                0
V1 In svcPath                 0                0                0
All-Drops                     228             1288             1516
Flow Notificns Sent           0
Total Rcvd From VSN           5
Non-Cisco Encap Rcvd         0
VNS-Port Drops                2
Policy-Action Err             0
Decap Err                     0
L2-Frag Sent                  0
L2-Frag Rcvd                  0
L2-Frag Coalesced             0
Encap exceeded MTU           0
ICMP Too Big Rcvd            0

#VPath Flow Statistics
Active Flows                   0 Active Connections 0
Forward Flow Create            1 Forward Flow Destroy 1
Reverse Flow Create            1 Reverse Flow Destroy 2
Flow ID Alloc                  3 Flow ID Free          3
Connection ID Alloc            1 Connection ID Free    1
L2 Flow Create                 1 L2 Flow Destroy       1
L3 Flow Create                 0 L3 Flow Destroy       0
L4 TCP Flow Create             0 L4 TCP Flow Destroy   0
L4 UDP Flow Create             2 L4 UDP Flow Destroy   2
L4 Oth Flow Create             0 L4 Oth Flow Destroy   0
Embryonic Flow Create          0 Embryonic Flow Bloom  0
L2 Flow Timeout                2 L2 Flow Offload       3
L3 Flow Timeout                0 L3 Flow Offload       0
L4 TCP Flow Timeout            0 L4 TCP Flow Offload   0
L4 UDP Flow Timeout            5 L4 UDP Flow Offload   0
L4 Oth Flow Timeout            0 L4 Oth Flow Offload   0
Flow Lookup Hit                5 Flow Lookup Miss      3
Flow Dual Lookup               8 L4 TCP Tuple-reuse    0
TCP chkfail InvalACK           0 TCP chkfail SeqPstWnd 0
TCP chkfail WndVari            0
Flow Classify Err              0 Flow ID Alloc Err     0
Conn ID Alloc Err              0 Hash Alloc Err        0
Flow Exist                     0 Flow Entry Exhaust    0
Flow Removal Err               0 Flow Entry Miss       0
Flow Full Match Err            0 Bad Action Receive    0
Invalid Flow Pair              3 Invalid Connection    0
Hash Alloc                     0 Hash Free              0
InvalFID Lookup Err            0 Deferred Delete       0

```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice port vethernet	仮想イーサネット (vEth) ポートに関する情報を表示します。

state (ポート プロファイル)

ポート プロファイルの動作ステートをイネーブルにするには、**state** コマンドを使用します。ポート プロファイルの動作ステートをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

state enabled

no state enabled

構文の説明

enabled ポート プロファイルをイネーブルにします。

デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ポート プロファイルの動作ステートをイネーブルにする例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# port-profile testprofile
vsm(config-port-prof)# state enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile	ポート プロファイル情報を表示します。

tcp state-checks

Cisco Nexus 1000V スイッチを TCP 状態チェックを実行するように設定するには、**tcp state-checks** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

tcp state-checks

no tcp state-checks

構文の説明

引数はありません。

コマンドモード

vservice のグローバル コンフィギュレーション (config-vservice-global)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
システム管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

vPath のデフォルトの TCP 状態チェックは各チェックで異なるため、このコマンドの **no** 形式で、それぞれのチェックをイネーブルまたはディセーブルにすることができます。このコマンドの **no** 形式を入力する前に、「デフォルト」のセクションを参照してください。

例

次に、デフォルトの TCP 状態チェックを実行するようにスイッチを設定する例を示します。

```
n1000v(config)# vservice global type vsg
n1000v(config-vservice-global)# tcp state-checks
```

関連コマンド

コマンド	説明
vservice global type vsg	vservice のグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

vlan

VLAN を作成して VLAN コンフィギュレーション モードを開始するには、**vlan** コマンドを使用します。VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vlan {id | dot1Q tag native}
```

```
no vlan {id | dot1Q tag native}
```

構文の説明	<i>id</i>	VLAN ID 番号。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
	dot1Q tag native	IEEE 802.1Q 仮想 LAN を指定します。

デフォルト VLAN 1

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ダッシュを使用して VLAN の範囲を指定します (1-9 または 20-30 など)。

例 次の例は、VLAN を作成し、VLAN コンフィギュレーション モードを開始する方法を示したものです。

```
vsm# configure
vsm(config)# vlan 100
vsm(config-vlan)#
```

次に、VLAN を削除する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# no vlan 100
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show vlan	VTP VLAN ステータスを表示します。

vservice

サービス ノードとポート プロファイルを関連付けるには、ポート プロファイルのポート プロファイル コンフィギュレーション モードから **vservice** コマンドを使用します。ポート プロファイル コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vservice {node node_name [profile profile_name]}
```

```
no vservice
```

構文の説明

node	ポート プロファイルを関連付けるサービス ノードを指定します。
<i>node_name</i>	事前定義したサービス ノードの名前。
profile	(任意) サービス ノードが関連付けられるサービス プロファイルを指定します。
<i>profile_name</i>	事前定義されたサービス プロファイルの名前。

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

選択したポート プロファイルのエントリにサービス ノードを関連付けることができます。事前定義されたノードが必要です。ノードがタイプ **VSG** の場合はプロファイルの指定が必須です。

例

次に、ノードのあるポート プロファイルとサービス プロファイルを設定する例を示します。

```
vsm(config)# port-profile port1 <----- Enter the mode of the port-profile entity you
want to configure
vsm(config-port-prof)# vservice node vsg1 profile spl
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile	ポート プロファイルに関する情報を表示します。

vservice global type vsg

vservice のグローバル コンフィギュレーション モードを開始するには、**vservice global type vsg** コマンドを使用します。

vservice global type vsg

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

vservice のグローバル コンフィギュレーション (config-vservice-global)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、vservice のグローバル コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
n1000v# configure <----- enter the config mode
n1000v(config)# vservice global type vsg
n1000v(config-vservice-global)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
tcp state-checks	スイッチ トラフィックの選択的 TCP 状態チェックを設定します。

vservice node

サービス ノードを設定するには、**vservice node** コマンドを使用します。サービス ノードをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vservice node node_name type {vsg}
  ip address ip-address | no ip address
  adjacency {l3} | no adjacency failmode {close | open} | no failmode

no vservice node node_name
  no ip address
  no adjacenc
  no failmode
```

構文の説明

<i>node_name</i>	ネットワーク上で識別するサービス ノードの名前。
type	設定するサービス ノードのタイプを指定します。
vsg	Cisco VSG のサービス ノードを指定します。
ip address	サービス ノードの IP アドレスを指定します。この IP アドレスはデータ インターフェイス ノードの IP アドレスに一致する必要があります。
<i>ip-address</i>	関連するサービス ノードの IP アドレス。
no	サービス ノードに関連付けられた IP アドレスがありません。
adjacency	レイヤ 3 モードに隣接を指定します。
l3	サービス ノードにレイヤ 3 (IP アドレスを使用) モードを指定します。
failmode	フェール クローズまたはフェール オープン モードになる状態を設定します。
close	Cisco VSG がダウンしている場合はパケットをドロップします。768 ビットは、デフォルト値です。
open	Cisco VSG がダウンしている場合はパケットの通過を許可します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

既存の Cisco VSG とサービス ノードを設定するには、**vservice node** コマンドを使用します。そのノードはポート プロファイルに関連付けられます。

機能しない vservice ノードだけを削除できます。非アクティブ ノードは仮想マシン (VM) で設定されません。

例

次に vservice ノード モードを開始して、vservice ノードの IP アドレス、隣接、障害モードの設定を設定する例を示します。

```
vsm(config)# vservice node test type vsg <----- enter the vservice-node mode
vsm(config-vservice-node)# ip address 1.1.11.11
vsm(config-vservice-node)# adjacency 13
vsm(config-vservice-node)# fail-mode close
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice node brief	vservice ノードに関する要約情報を表示します。
show vservice node detail	vservice のノードに関する詳細情報を表示します。

vservice license

特定のモジュールに Cisco VSG ライセンスを割り当てるには、**vservice license** コマンドを使用します。変動ライセンスをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vservice license type {vsg} {transfer | volatile} {src-module mod_no | license-pool} {dst-module mod_no | license-pool}
```

```
[no] vservice license type {vsg} volatile
```

構文の説明	type	サービス ノード ライセンスを指定します。オプションは、Cisco VSG です。
	vsg	ユーザが特定のモジュールに割り当て可能な VSG のライセンス タイプを指定します。
	transfer	ライセンスを転送する必要があることを指定します。
	volatile	ネットワーク内の変動ライセンスを指定します。
	src-module	ライセンスを転送するソース モジュールを指定します。
	<i>mod_no</i>	モジュール番号。指定できる番号の範囲は 3 ~ 66 です。
	license-pool	ライセンスがモジュールからプールに、またはプールからモジュールに転送されなければならないことを指定します。
	dst-module	ライセンスが割り当てられる宛先モジュールを指定します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ライセンス プールに変動ライセンスを転送できません。コマンドラインで「volatile」を入力した後、キーワードを指定できません。

モジュールとライセンス プール内でライセンスを転送できます。このコマンドは、変動ライセンスをイネーブル（アクティブ化）にもします。

例 次に、モジュールからライセンス プールに Cisco VSG ライセンスを転送する例を示します。

```
vsm(config)# vservice license type vsg transfer src-module 4 license-pool
```

次に、Cisco VSG の変動ライセンスをイネーブルにする例を示します。

```
vsm(config)# vservice license type vsg volatile
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vservice license brief	ライセンス タイプごとの使用状況の情報を表示します。
show vservice license detail	モジュールごとのライセンス タイプを表示します。

vnm-policy-agent

Cisco Virtual Network Management Center (VNMC) ポリシー エージェント モードを開始するには、**vnm-policy-agent** コマンドを使用します。

vnm-policy-agent

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)SM1(5.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ポリシー エージェントの設定に Cisco VNMC ポリシー エージェント コンフィギュレーション モードを使用します。

例

次に、ポリシー エージェント モードを開始する例を示します。

```
vsm# configure
vsm(config)# vnm-policy-agent
vsm(config-vnm-policy-agent)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

